

### 松山議員

#### エコミュージアムについて

**問**①「わがまち魅力醸成事業」は、今年が最終年であるが、来年度以降の後継事業をどのように考えているのか。

②任意団体になったエコミュージアム協議会にどのような期待をもっているのか。

③市制施行60周年の記念事業として、日本エコミュージアム研究会全国大会を勝山市で開催すべき。

**答**①来年度からは「わがまち魅力発酵事業」を考えている。3カ年の魅力醸成を経て、魅力発酵事業では、様々な補助事業との整合性を取りながら、第5次勝山市総合計画で進める地域力・市民力、そして地域の産業力向上を目的に女性団体・若者グループの参画を図っていきたい。

②これまで培ったまちづくりのノウハウを存分に発揮し、エコミュージアムによるまちづくりを推進していただくことを期待している。

③日本エコミュージアム研究会会長より、勝山市での来年度開催について協力の依頼を受けている。エコミュージアム協議会も前向きに検討しており、市としても協力要請があれば支援していく。

その他の質問  
・各地区の特色ある地域づくり事業について  
・勝山市の防災関係について

#### 夏フェス「DINOSONIC」 「勝山まちなかストリートフェス」について

**問**夏フェス「DINOSONIC」勝山まちなかストリートフェス」の結果・成果をどのように検証し、今後の開催についてはどのように考えているのか。

**答**「ダイノソニック」では、関東圏・中部圏のお客様が約300名を超え、特に関東圏からの観光誘客と情報発信を図る観光戦略イベントとして一定の成果が得られた。また「まちなかストリートフェス」では、市内の若者が自らの手で企画立案と運営資金調達まで行い、実践できたことは非常に心強く感じている。

今回の成果を十分評価したうえで、さらに取り組むべき課題等を整理検討し、若い人たちの主体性を大切にする形で、来年度以降の事業に生かしていきたい。



「まちなかストリートフェス」トクツク

### 帰山議員

#### 学生合宿の宿泊及び練習場の利用状況と今後の展開について

**問**学生合宿の今後のPR・事業拡大方針と、既存施設・宿泊施設等の充実強化の対策を伺う。

**答**学生合宿については、学生合宿専用サイトを運営する旅行代理店を通じて申し込んでくる団体が多く、情報提供の環境はある程度整ってきている。今後、リピーターの確保も含め、合宿地として勝山市を選んでいただけるよう、さらにPRに取り組んでいく。

また学生合宿事業については、県より1/2の補助(助成額500円/1人が上限)を受けて実施しているが、県助成制度は今年度までと聞いているため、補助事業の継続を知事に要望しているところである。今後、利用実績や推移並びに県内自治体の状況を把握しながら、助成内容について検証していく。

宿泊施設については、現在、ほとんどが勝山ニューホテルとなっているが、今後、旅館業組合とも相談する中で、利用者のニーズに合わせて民宿や旅館の利用を増やす方策についても模索するとともに

その他の質問  
・中心市街地の範囲と郊外市街地について  
・飼料用米・加工用米及び備蓄米等の生産について  
・口コモの認知度向上について

に、豊かな自然の中にある魅力ある合宿地として勝山市をアピールしていきたい。

体育施設については、屋内体育施設の、学生合宿と市民利用を合わせた平成25年度の昼間の稼働率は、合宿の需要が最も多い8月で、市営体育館87・1%、勤労者体育館74・2%となっており、量的には若干余裕がある状況。平成28年度の新体育館完成時には、大人数の団体の合宿誘致も可能となるため、今後は新体育館完成時期のPRにも努めていく。屋外の体育施設については、改善すべき点があると認識しており、今後、屋内の体育施設も含め、市民ニーズをしっかりと把握しながら、改善に努めていく。



学生合宿